



## 平成24年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月7日

上場取引所 東

上場会社名 クミアイ化学工業株式会社  
コード番号 4996 URL <http://www.kumiai-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 英助  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 小池 好智

TEL 03-3822-5036

四半期報告書提出予定日 平成24年6月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成24年10月期第2四半期の連結業績(平成23年11月1日～平成24年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第2四半期	28,050	3.4	2,366	2.2	2,948	7.8	2,110	21.8
23年10月期第2四半期	27,116	6.0	2,315	10.2	2,736	9.5	1,732	8.0

(注) 包括利益 24年10月期第2四半期 2,436百万円 (25.7%) 23年10月期第2四半期 1,937百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年10月期第2四半期	26.54	—
23年10月期第2四半期	21.50	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年10月期第2四半期	61,204	43,190	66.5
23年10月期	53,146	40,777	73.0

(参考) 自己資本 24年10月期第2四半期 40,674百万円 23年10月期 38,782百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年10月期	—	—	—	5.00	5.00
24年10月期	—	—	—	—	—
24年10月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年10月期の連結業績予想(平成23年11月1日～平成24年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	8.1	1,700	17.6	2,500	21.4	1,700	25.0	21.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年10月期2Q	86,977,709 株	23年10月期	86,977,709 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

24年10月期2Q	7,702,487 株	23年10月期	6,433,549 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年10月期2Q	79,486,939 株	23年10月期2Q	80,548,026 株
-----------	--------------	-----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興などの内需関連業種を中心に回復の動きが見られ持ち直しに向かいつつあるものの、ギリシャを初めとした欧州債務危機の懸念が高まり、これに伴い為替も円高傾向を示すなど、不透明な状況となっております。

農業に関しましては、戸別所得補償制度など食糧自給率の向上や農業・農村の活性化のための施策は行われているものの、農業者の減少や高齢化、耕作放棄地の増加などによる耕地面積の減少が進むなど、農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このような情勢のもと、国内・国外とも売上、利益の最大化を図るためのマーケティング戦略の構築を進め、新規自社開発除草剤を中心にシェアの回復や市場の確保に注力するとともに、既存剤の維持、拡大を図ってまいりました。

当グループの第2四半期連結累計期間における売上高は280億5千万円、前年同期比9億3千4百万円(3.4%)の増となりました。損益面につきましては、売上高が増加したことなどにより、営業利益は、23億6千6百万円、前年同期比5千1百万円(2.2%)の増、経常利益は、当期首よりイハラプラス社(IHARABRAS S/A. INDUSTRIAS QUIMICAS)を持分法適用関連会社にしたことにより前年同期に比べ持分法による投資利益が増加したことなどから29億4千8百万円、前年同期比2億1千2百万円(7.8%)の増となりました。四半期純利益は、土地賃貸契約解除に伴う受取補償金を計上したこと及び前年同期に比べ特別損失が減少したことなどから、前年同期比3億7千8百万円(21.8%)増の21億1千万円となりました。

セグメントの概況につきましては以下の通りです。

セグメント	平成24年10月期 第2四半期		平成23年10月期 第2四半期		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
化学品	25,963	92.6	25,221	93.0	742	2.9
賃貸	149	0.5	108	0.4	41	38.0
その他	1,938	6.9	1,787	6.6	151	8.4
計	28,050	100.0	27,116	100.0	934	3.4

## ① 化学品セグメント

国内部門におきましては、農耕地分野の水稲用除草剤については、今期から本格販売となった「ピリミスルファン剤」や主力製品の「トップガン剤」などを中心にシェア回復に努め前年同期の実績を上回り、水稲用箱処理剤については「イソチアニル剤」が伸張しました。園芸用では、殺菌剤「プロポーズ剤」や殺虫剤「コルト」が前年同期を上回りました。非農耕地分野ではゴルフ場向け薬剤の販売、農薬原体販売や受託加工が好調に推移し前年同期を上回りました。

国外部門におきましては、棉用除草剤「ステイプル」や直播水稲用除草剤「ノミニー」が主力市場である米国、インドで昨シーズンの使用時期における洪水などの影響により流通在庫が増加し、当期分の引き取りが低調となったものの、米国及び豪州で新たに登録を取得し上市した畑作用除草剤「ピロキサスルホン剤」が販売に寄与し、ほぼ前年同期並みとなりました。

上記の結果、化学品セグメントの売上高は259億6千3百万円、前年同期比7億4千2百万円(2.9%)の増、営業利益は23億2千9百万円、前年同期比1千8百万円(0.7%)の減となりました。

② 賃貸セグメント

昨年9月から賃貸を開始した静岡市清水区の賃貸用店舗の賃貸料が増加したことから、売上高は1億4千9百万円(セグメント間の内部売上を含めた売上高は2億2千9百万円)、前年同期比4千1百万円(38.0%)の増、営業利益は1億4千2百万円、前年同期比2千1百万円(17.6%)の増となりました。

③ その他

流通事業、印刷事業、情報サービス事業及び環境中の化学物質等計量事業などで構成されるその他は、流通事業の取り扱い量拡大や化学物質等計量事業での放射能検査の受注増に加え、各分野での積極的な営業活動・顧客獲得活動が功を奏し売上高は19億3千8百万円、前年同期比1億5千1百万円(8.4%)の増、損益面では、売上の増加と原価の低減に努めたことにより営業利益は2億6百万円、前年同期比7千9百万円(62.2%)の増となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は612億4百万円で、前連結会計年度末に比べ80億5千7百万円の増となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加が、現金及び預金の減少を上回ったことによるものです。

負債は180億1千3百万円で、前連結会計年度末に比べ56億4千4百万円の増となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加したことによるものです。

純資産は431億9千万円、自己資本比率は66.5%、1株当たり純資産は513円08銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月期通期の連結業績予想は、平成23年10月期の決算発表時(平成23年12月14日)の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,802	5,038
受取手形及び売掛金	7,883	19,420
有価証券	459	35
商品及び製品	6,319	6,607
仕掛品	2,405	1,801
原材料及び貯蔵品	1,542	1,279
繰延税金資産	672	634
その他	601	446
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	27,680	35,259
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,636	3,659
機械装置及び運搬具(純額)	733	738
土地	6,280	6,283
建設仮勘定	39	—
その他(純額)	541	514
有形固定資産合計	11,229	11,194
無形固定資産		
投資その他の資産	221	289
投資有価証券	12,913	13,354
繰延税金資産	156	186
その他	948	923
投資その他の資産合計	14,017	14,462
固定資産合計	25,467	25,945
資産合計	53,146	61,204

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,606	12,066
短期借入金	11	11
未払金	1,271	634
未払法人税等	322	1,064
賞与引当金	478	418
その他	401	534
流動負債合計	9,089	14,726
固定負債		
長期借入金	6	—
繰延税金負債	695	751
退職給付引当金	1,841	1,777
役員退職慰労引当金	322	337
その他	417	423
固定負債合計	3,281	3,287
負債合計	12,370	18,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,534	4,534
資本剰余金	4,833	4,834
利益剰余金	29,773	31,707
自己株式	△1,228	△1,584
株主資本合計	37,913	39,491
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,248	1,659
為替換算調整勘定	△379	△476
その他の包括利益累計額合計	869	1,183
少数株主持分	1,994	2,516
純資産合計	40,777	43,190
負債純資産合計	53,146	61,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)
売上高	27,116	28,050
売上原価	20,354	21,056
売上総利益	6,762	6,994
販売費及び一般管理費	4,447	4,628
営業利益	2,315	2,366
営業外収益		
受取利息	24	64
受取配当金	214	115
持分法による投資利益	189	426
その他	57	58
営業外収益合計	483	663
営業外費用		
支払利息	0	1
売上割引	24	25
為替差損	4	39
保険解約損	17	—
その他	17	16
営業外費用合計	62	81
経常利益	2,736	2,948
特別利益		
固定資産処分益	0	—
投資有価証券売却益	—	87
受取補償金	—	277
特別利益合計	0	364
特別損失		
固定資産処分損	11	5
災害による損失	124	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	29	—
特別損失合計	163	5
税金等調整前四半期純利益	2,573	3,307
法人税等	799	1,072
少数株主損益調整前四半期純利益	1,774	2,235
少数株主利益	42	125
四半期純利益	1,732	2,110



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,774	2,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95	420
為替換算調整勘定	79	△348
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	129
その他の包括利益合計	164	201
四半期包括利益	1,937	2,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,880	2,424
少数株主に係る四半期包括利益	57	12

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年11月1日至平成23年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	化学品 (百万円)	賃貸 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	25,221	108	25,329	1,787	27,116	—	27,116
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	80	80	745	825	△825	—
計	25,221	188	25,409	2,532	27,941	△825	27,116
セグメント利益	2,347	121	2,468	127	2,595	△279	2,315

(注)1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△279百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年11月1日至平成24年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	化学品 (百万円)	賃貸 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	25,963	149	26,111	1,938	28,050	—	28,050
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	80	80	775	855	△855	—
計	25,963	229	26,192	2,713	28,905	△855	28,050
セグメント利益	2,329	142	2,471	206	2,677	△311	2,366

(注)1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業などを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△311百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。